

佐原農産物供給センター

オンライン開催『産直野菜学習会』



■ 佐原農産物供給センター

「人」つながる力、「土」育む力

佐原農産物供給センターは、1981年9月「農業に生きがいを持ち、農業だけで食べていける体制づくり」を合言葉に設立されました。以来、生協の組合員さんと産直関係を築くなかで柱としてきたのが、「人」「土」という二つの要素です。組合員のみなさんの台所になることを目指しています!!



安心安全な野菜ってなんだろう!?

《イベント詳細について》

講師：佐原農産物供給センター 根本 芳和 様・佐藤 政和 様

講座内容：産地紹介、生産物へのこだわりや想いをお伝えします！佐原農産物供給センターより旬な野菜を参加者のご自宅へお届けします！産直野菜をぜひご堪能下さい！

参加費：300円 定員：15組

※イベント終了後、アンケートご提出者には佐原の「いっぷく堂 干し芋」をプレゼント♪

◆イベントスケジュール◆

10:30 イベントスタート☆

11:10 質問タイム

11:15 試作品&商品紹介

11:50 質問タイム

12:00 イベント終了

※多少イベント内容の変更がございます。予めご了承ください。



※写真はイメージです

開催日：2021年10月1日(金)

時間：10時30分～12時00分

参加方法：オンライン(ZOOM)

佐原発、食と農業の未来へ

佐原農産物供給センターが大事にしているのは「人」(つながる力)と「土」(育む力)。自然環境を重視した農業を展開し、農薬や化学肥料には出来るだけ頼ることなく、安全でおいしい農産物を供給しています。そして、「産直交流」などで消費者との【顔の見える関係】を大事にしています。組合員との信頼関係が、環境に配慮した農業を支えているのです。

食と農をつなぎ豊かな地域社会をめざします

佐原農産物供給センターは、単に安全・安心な食べ物を調達する組織ではありません。大切にしているのは「つくる人」と「食べる人」がともに健康で安心な暮らしを実現するため、理解しあい、利益もリスクも分かち合える関係を築くこと。農業のもつ多面的な価値を見直しながら、環境保全・資源循環を基本におき、食と農をつないで豊かな地域社会をつくることをめざしています。



佐原農産物供給センターでは、安全な青果の栽培に取り組む全国の産地と交流・視察を行い、農法などの情報交換を行っています。首都圏近郊が集まる「近郊産地会議」では、規格・価格に至るまで意見交換を行い、安全性と安定供給のために協力しあっています。さらに、消費者や取引先関係者を含む「第三者」に監査員になってもらい、取り組みや管理状態について監査を行う「公開監査」も実施。

“顔の見える関係”から始まった信頼を、より深めています。

《開催方法》 Zoom にて開催

- ※パソコン、タブレット、スマートフォンいずれかでご自宅から参加できます。
- ※インターネット環境が必要となります。Wi-Fi 環境、データ通信量上限等、ご確認をお願いします。
- ※Zoom 接続に不安のある方はお申込みの際にご相談下さい。
- ※参加者にイベント開催前日までに資料をお送りします。

《メールお申込み方法》

タイトルに「佐原農産物供給センター 産直野菜学習会」

本文に「お名前、ご連絡先、組合員番号」を記載し、yamanashi-katudou@pal.or.jp までメールを送信してください。

《申込み〆切》 2021年9月10日(金)

2次元コードからも
メール送信できます☆⇒



キリトリ✂

産直連続講座 佐原農産物供給センター オンライン講座「産直野菜学習会」申込書

お名前：
組合員番号：
佐原農産物供給センターへのご質問：

コース：
お電話番号：

《お問い合わせ先》パルシステム山梨 ☎055-243-6327 活動支援 甲斐センター担当:猿渡・秋山